

「目視困難な水中部にある鋼構造物の腐食や損傷等を非破壊・微破壊で検出が可能な技術」の公募について

水中部にある鋼構造物の腐食や損傷等については、構造物の不具合と結び付く可能性が高く、早期に発見することで予防的な対策を施すことが可能となります。

従来、水中部にある鋼構造物については、潜水士による近接目視点検や触診などで確認していますが、潜水によるコスト増（装備、特殊技能者、稼働率など）、付着物の除去に手間がかかる、潜水という悪条件による点検品質の低下などの課題があります。このため、公共事業等における新技術活用システムを活用し、既に実用化段階にある「目視困難な水中部にある鋼構造物の腐食や損傷等を非破壊・微破壊で検出が可能な技術」を公募することとしましたのでお知らせします。

1. 公募の概要

【公募技術】

目視困難な水中部にある鋼構造物の腐食や損傷等を非破壊・微破壊で検出が可能な技術

【募集期間】

平成 26 年 2 月 26 日（水）から平成 26 年 3 月 28 日（金）

【公募要領等】

国土交通省のホームページより、公募要領及び申請書様式をダウンロードできます。

（別紙 2 - 2）「目視困難な水中部にある鋼構造物の腐食や損傷等を非破壊・微破壊で検出が可能な技術」に関する公募

（別紙 2 - 3）「目視困難な水中部にある鋼構造物の腐食や損傷等を非破壊・微破壊で検出が可能な技術」申請書

2. 試行・評価の進め方

スケジュール（予定）

2/26～3/28:技術募集

3/31～8 月:試行する技術を選考、現場で試行

9 月以降 : 試行結果を評価・公表

- 応募された技術のうち活用効果が高いと思われるものについては、国土交通省の事業・実現場において試行し、その機能・性能などを確認・評価します。
- 現場での試行は平成 26 年 4 月から 8 月の間を予定していますが、現場状況等により時期等変更する場合があります。
- 試行現場及び試行期間については、別途指定する候補の中から協議により決定します。
- 試行に必要な費用は、原則として、全て応募者の負担とします。
- 評価結果は、NETIS 維持管理支援サイトで公表します。

<http://www.m-netis.mlit.go.jp/>